

やまたらけ

OCTOBER

No. 49

YAMADARAKE

2011

早川沿岸軌道従業者者現役



大島集落徹底解剖

みなさんは、自分の住んでいる地域やまちの「昔の姿」をご存知だろうか。目に見える「痕跡」や「名残」から、自身の子供の頃の風景を思い出し、先人の暮らしに想いを馳せる。そこには、普段の私たちの暮らしの中で忘れかけていた、あるいは想像もできないような世界が広がっている。

早川町大島は、町名の由来ともなっている早川と、その最大の支流雨畑川が交わる場所にある。早川奥と雨畑川流域との分岐として、かつては交通の要衝、人と物の集散の地であった。

金山や林業など山の資源を生かした生業や、発電所やダム建設などの建設業、他にも稲作、養蚕、養豚など様々な産業が営まれていた大島。特に、金山最盛期であった昭和初期、雨畑ダム建設当時の昭和40年代の2度にわたって大きなにぎわいを見せた。

現在の大島は、昭和初期に比べると戸数も半減しているなど、確かに当時の様なにぎわいは見られないかもしれない。しかし、土地にはそのにぎわいの記憶が必ず刻まれている。

今回のやまたらけでは、現在の大島に残る当時のにぎわいの痕跡や、生活の名残から、「昔の大島の姿」をご紹介します。にぎやかな大島の様子を地図上に再現し、大島集落の徹底解剖を試みる。(川田武尊)

昭和 24~25 年頃に分教所前で撮影された写真。大島と久田子の 1 年~4 年生が通っていた。写真の持ち主、望月健市さんも映っている。



軌道完成頃のワラビタイラ (昭和 10 年前後)



初期の西山方面と雨畑方面の分岐点上写真は昭和 10 年頃。下写真が現在。



ほぼ同じ位置から撮影。左に映っている建物は島屋旅館。上写真の上部に「早川沿岸軌道従業者組合役員」と書いてある。前に映っている線路が軌道。下写真の左の道が雨畑へ、右が西山方面へと続く。

現在の県道から軌道が通っていた道 (左奥) への入り口。バス停がある。



3つの土地からなる大島集落



大島は、3つの土地から構成されている。ウエムラは、元々人が住んでいたところ。お宮やお寺もここにある。シマは、人々が田んぼをしに行っていたところ。ワラビダイラは、元々人は住んでおらずワラビがよくとれたそう。林業や電源開発、また町村合併で早川町役場が近くにできたこと等から、人々が行き交うようになり商売をする人が住み着き開発された。ウエムラから移住した人もいたし、よそから移り住んだ人もいたそう。

西山方面と雨畑方面の分岐点としての大島

早川奥と雨畑川流域との分岐点は、今では取り残されたように家々が建ち並ぶ。しかし、かつて昭和40年代の頃までは、林業関係者や雨畑ダム工事の人々を相手にした商業地区として、にぎわいを見せていた。

早川舟運と軌道

にぎわいの基盤となった道の変遷を追う。かつては、早川の豊富な水量を利用した「早川舟運」が行われていたが、早川上流における水力発電計画決定をうけて、大正13年には早川橋から新倉までの早川沿い約20kmに軌道が敷設される。「トコ馬車」と呼ばれる馬力で材木などを運ぶトロッコがそこを通り、輸送力は増強、当時は画期的な輸送手段となった。

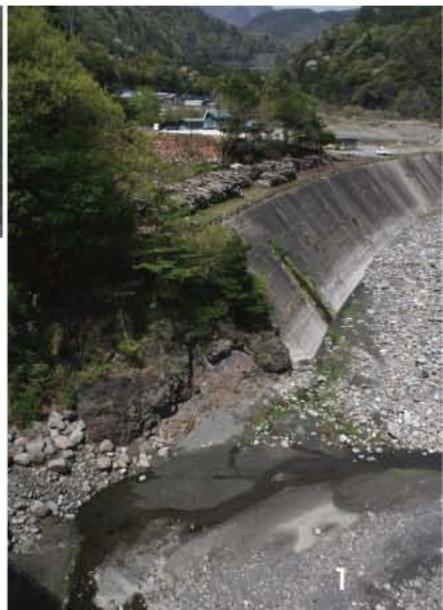
軌道の維持管理は早川軌道組合が行っていたが、世の進展に伴い自動車道路へと改修されていく。昭和30年には、早川橋から奈良田までの自動車道路がほぼ完成し、「人と物の集散地・大島」の基盤が築かれる。残念ながら軌道の跡は残されていないが、軌道が通っていた道筋は確認することができる。また、早川舟運の船着き場となっていた岩の一部も見ることが出来る。

街並み

軌道が通っていた道沿いには旅館、呉服屋、時計屋、床屋、タバコ屋、パチンコ屋等々が建ち並び、とても



舟寄せの松
上が昭和40年頃に松が生える岩の上で撮影した写真。右が現在の様子。電源開発によって川の水が減り、舟運ができなくなるために、住民が東京電灯(現東京電力)に交渉して、代替手段としての軌道を作らせたそう。





▲軌道が通っていた道を西山方面に行く。左に林務所の分担区、奥に駐在所の建物が見える(写真上)。軌道は駐在所へ上る階段の右脇を抜け、西山方面へ向かった(写真下)。



▲大島分校で撮影した写真。階段上がが校舎、下がグラウンド。この階段は、現在も公民館の玄関前に残っている。

旅館「大黒屋」では、林業関係者やダム工事の人をはじめ、富山の菓売りや群馬のダルマ売りなどの行商、獅子舞芸人など様々な人を泊めたという。その事実、だけでも、当時いかに大島がにぎわっていたかが分かる。平成5年頃に旅館は閉館したものの、その後、建て替え、元おかみさんの玉子さんは、現在も大黒屋の土地

旅館「大黒屋」

にぎやかな街並みが形成されていた。現在の様子からは想像もできないが、その頃の名残がここにもある。建物の正面にまんまるな電球がついている一棟の建物。そこは、旅館や商店を見守るように集落の少し高くなつたところに建っていた駐在所であった。警察官が家族で暮らしており、ここ大島の治安を守っていたそう。人が集まる場所に駐在所あり。当時の活気を今でも感じることが出来る場所だ。

昭和30~40年頃のワラビタイラ

軌道の道とは別の筋に県道ができ、メインストリートがそちらへ移動した。軌道沿いの店の中には、県道沿いに移動して商売を続けたところも少なくなかった。



大黒屋さんに残る暖簾。当時のもののレプリカ。

にお住まいだ。閉館間近、記念に作ったという鮮やかな藍色の暖簾は、旅館「大黒屋」を初め、当時のにぎわいとそれを残したいという玉子さんの気概を感じさせる。



大黒屋は、わらじや巻き寿司などを、早川舟運の船頭さんに売ったのが始まり。巻き寿司は、ワラビタイラで穫れたワラビを具にしていたようだ。



▲大黒屋の建前(上棟式)。道は県道。左上の建物が陳さんのラーメン屋。昭和40年頃の写真。

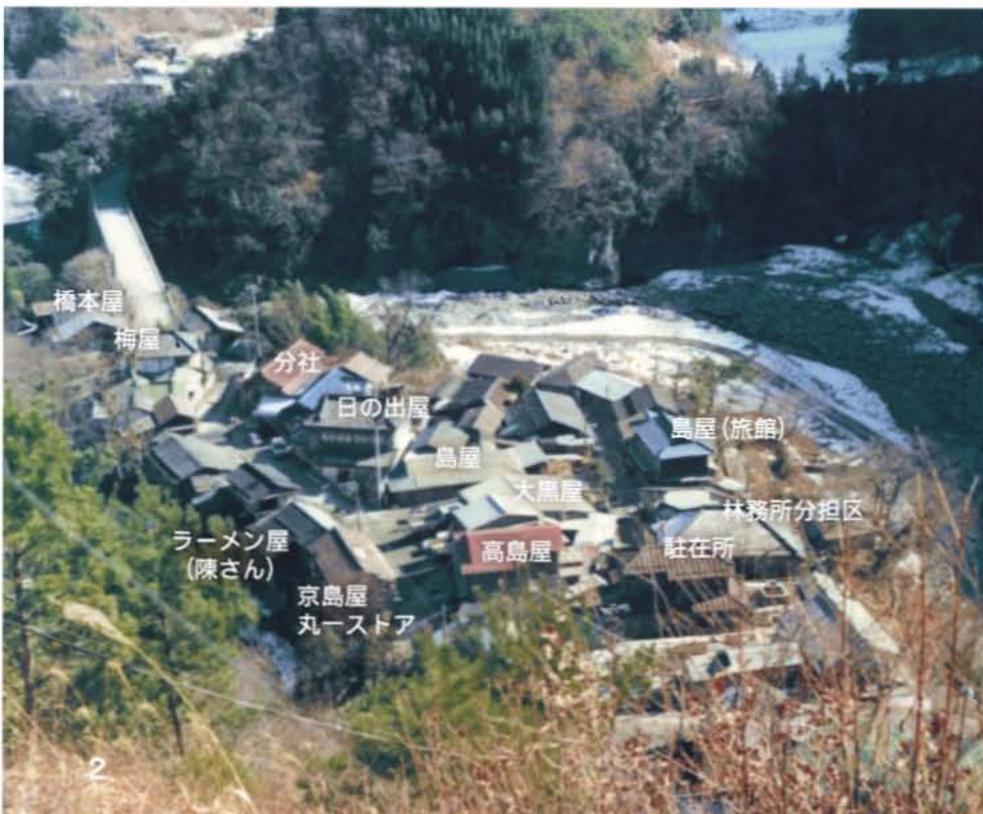


◀左が大黒屋、右が高島屋。

▶日の出屋前にて撮影。鉄沢から大島に移り住み、商売をはじめ。元々は軌道沿いにあったが昭和30年頃、県道沿いに移動。食料品や日用雑貨等を販売。町民のお客さんも多かった。二階で駐在所の結婚披露宴が執り行われたこともあるようだ。



◀日の出屋の次男、千洞田安宏さん撮影。高校を卒業し上京する直前の昭和46年3月に、記念にと診療所の裏山に登り撮影した写真。建物がひしめき合うように立っている。県道沿いの建物の大半は、10年程前の県道拡幅工事で取り壊された。





水路開削の石碑
全て漢字で書か
れている。今回、中央大
学山村研究会会員の
鈴木努さんに解
読していただいた。

太島渠碣 文政十丁亥春二月

本邦 大島郡高二十石余 邸民百余口
水常時運深水以資飲 飲葉山氏及邸長深
易得者莫如水而不得其多 得也 閩郷
■ 精於板築 秋野森右衛門也 者親使
地形焉 秋生白為之非救難也 許諾焉 既
戌秋八月始築至翌乙亥五月而工竣
十歩 擊後山六十歩及小工二所 惣計百
平均 擊周廻凡四百歩計以造井路引
大島渠不啻湧物唇而全性命 灌田
千頃者 嗚呼莫洪福大也 邸中厚顧 秋野
之因事修其德 請勒于石 故記其梗概云
南嶺丹為仁撰 撰書 印

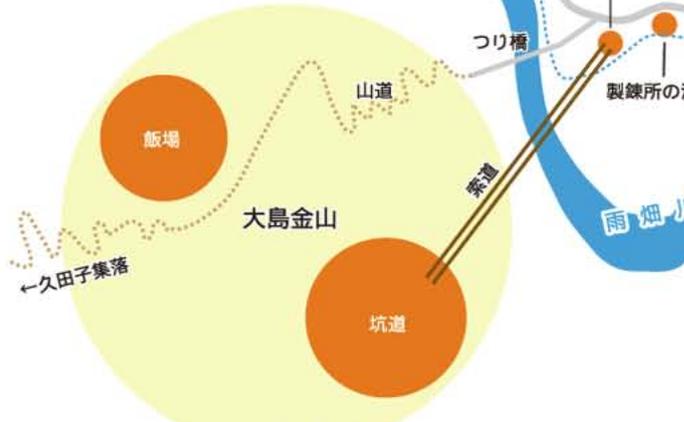
大島水路の碑
文政十年(1827)2月

大島村は石高20石、村
民は100余名、常に川
の水を運んで、飲み水や
煮炊きに使っており、大
変苦勞していた。
水の確保は村の悲願
で、村を挙げて土木工事
に精通した秋野森右衛門
という人に相談した。地
形を見て、秋野氏は水路
を作ることを決めた。
文化2年8月に工事を
はじめ、翌年の5月に総
延長1km程の水路が完成
すだけなく、村人の命
を支え、田んぼを潤した。
村人は厚く感謝した。秋
野氏に厚く感謝した。
この出来事をまとめ
この石に刻む。
※解読不能な部分も
あったので、かなりの
意訳です。

○は木へんに召 ◇はサイと読む草かんむりの漢字 ■は解読不可能 …は以下数文字解読不可能



【写真上】田んぼより一段高
いとところに水路が走って
いた。その上に見えるガード
レールが県道。
【写真下】水路跡
に沿って歩く。石
がー列に並んで
いるところがあり、水路跡
ではないかと思われる。



広大な田んぼと 暮らしを支えた水路

大島は早川町内でも数少ない米の
産地で、平地に田んぼ、山つき(斜面)
に住宅という空間構成をしていた。
暮らしやすい平地を田んぼに譲り、
あえて斜面に住んだ理由は、「食べる
ため」、「生きるため」である。稲作で
用いる水は、大勢の人手をかけて
造った手づくり水路で確保してい
た。そのことは、今も集落に残る水路
開削の碑に「大島の渠は、単に唇を湿
さず、生命を全うし、荒田を灌漑す
る」と記してあることから伺える。
この水路、雨畑川より藤平を周り、県
道の土手脇に及ぶ長さ1kmをわずか
十ヶ月で掘削したもので、当時の
人々の苦勞は想像を絶する。
この水路は、雨降りや日照りのた
びにその様子を見に行くなど、みん
なで大切に管理していたそうだ。昭
和38年雨畑川上流に雨畑ダムが建設
され、雨畑川の水が使用できなくな
るまで、大島の人々の生活を支える
重要な役割を果たしていた。
短い日照時間、水温の低い雨畑川
の影響で、苗代に手間のかかる早期
栽培を取り入れるなど、決して稲作
に適した土地とはいえなかった大



島。米づくりの夢を叶えた水路は、先
人たちの想いの結晶とも言える。
なんと、その水路の跡と思わしき
ものが、現在の山あての一段高く
なったところに残っていた！そこか
ら下を眺めると、集落一帯に金色の
海原が広がっていたころの様子が目
に浮かぶ。当時の人々の生きるため
の工夫や努力が見られる風景は実に
美しい。
水車
昭和60年に町指定の文化財になっ
た「大島の共同水車一式」も雨畑ダム
建設の頃まで使われており、かつて
の養豚場の隣に今も静かに佇んでい
る。この水車は、水路から引いてきた
水を下から通す「下掛け式」と呼ばれ
る構造をしていた。
当時は、個人が使用する時間を当
番制で割り当てており、休みなく白

石碑の後ろに水車小屋がある。一段低いところにあるのは、水の勢いを増すため
であろう。中には搗き臼が3つ(写真中央下に2つ見えている)、碾き臼が1つ。右に
見える大きな歯車は、水車の回転を縦回転に変えて石臼を回すための歯車。



←坑道があった場所
坑道は4つあった。
ここから索道でこちら
側まで鉱石を運んだ。

すり
坑道から掘られた
土石を捨てた跡。



今回の取材で、集落をくまなく案内して下さった大野和男さん(右)。その他にも、大勢の方にご協力いただきました。ありがとうございました！

が杵をつくりズミカルな心地良い音がカタンカタンと集落に響いていた。そう。現在では文化財指定から外されてしまったが、今にも動き出しそうなその佇まいは、集落の共同施設としての記憶を刻み続けている。

金山もあった大島

手づくり農業用水路がもたらした水の恵みは、稲作だけでなく、金の精錬にも活かされていた。

硯島地区には、老平上流の奥沢や、静岡県境近くの遠沢など、至る所に金の鉱脈があり、金山も、甲州金山、甲永金山、稲又金山など多数存在する。ねじ切れるほど多くの金が産出されたことから、「ねじ切り金山」などという呼び名が言い伝えとして残っているほどだ。

大島にはそのうちのひとつ、大島金山があった。「雨畑川の右岸には金脈

はない」と言われていたが、大正の初め木材を伐採していて露頭が発見された。「甲州峡南産金地調査書」によると、大正6年以前から採掘が始まっており、閉山する昭和12年まで、約20年間活躍したそう。最盛期の昭和初め頃には、山の中に3棟の飯場があり、坑夫が100人ほど寝泊りし、精錬所では映画の上映もされていた。その頃、月に11kgから15kgも青金(アマルガム製錬の金)が採れ、京ヶ島や草塩からも人が働きに来るほどに、熱気があったという。

現在の早川町森林組合があるところに精錬所が、県道雨畑大島線に沿った硯島診療所の向かいには精錬所の沈砂池があった。これらは、今は影も形もない。金山で栄えたころの痕跡が唯一残されているのは、坑道を掘った土砂が集積した跡だ。そこは現在、山が少しはげている。

早川旬の直送便

直送便ウェブサイトでは、その他の商品も販売しております。会員割引も適用できますので、ぜひご利用下さい。

<http://shop.joryuken.net/>

大島集落からの贈り物！ 「島根芋の親芋、小芋、芋茎詰め合わせ」

今号のやまだらけで紹介した大島集落には、島根芋という特産品があります。その昔は「唐の芋」と呼ばれていた里芋の一種ですが、味が濃く、ほくほくして粘りが強く、京野菜として有名な海老芋に匹敵するおいしさです。大島では、お正月に煮物にして縁起物として食べ継がれ、今も無農薬で大事に育てられています。

今回は、島根芋の芋茎もセットにしました。こちらは、巻き寿司の芯や煮物にして食べると最高です。

今度のお正月、島根芋を食卓にならべてみてはいかがでしょうか。

内容/親芋+小芋約 2kg
芋茎 1袋
価格/通常 1,800円+送料
会員 1,620円+送料
発送/10月下旬から注文順に発送
締切/11月7日(月)まで



秋の味覚といったらこれ！ 早川きのご園の「キノコ3種詰め合わせ」と 「ステーキのような肉厚の生シイタケ」



秋の味覚として外せないキノコ。早川きのご園が丹精込めて育てたきのこを、2つのセットにしてご紹介。

まずはクリタケ、ヒラタケ、シイタケの3種詰め合わせ。クリタケは、バター炒め、炊き込みご飯、味噌汁がおすすめ。ヒラタケはなんにでも合う万能型。シイタケは香りが強く肉厚でぶりっとした食感がたまりません。

シイタケのみは、粒の大きなシイタケを選びすぐり、箱詰めしてお届けします。食べ応えがありますので、ステーキ感覚でお召し上がりください。

内容/詰め合わせ: シイタケ、クリタケ、ヒラタケ合計約 1kg
シイタケのみ: シイタケ 1kg 以上、サイズLL

価格/通常 2,500円+送料
会員 2,250円+送料
発送/10月中旬から注文順に発送
締切/10月24日(月)まで 締切間近!



ご注文・お問い合わせ先

※会員価格は、早川サポーターズクラブ、及びNPO法人日本上流文化圏研究所の会員に適用されます。

NPO 法人 日本上流文化圏研究所 (やまだらけ編集部)

TEL. 0556-45-2160 (9:00~17:30) FAX. 0556-45-2268 E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3日経っても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払い、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

送料は、全ての商品の基本料金が、普通便 740円 で関西、中国、四国、九州、東北、北海道は+100円~420円 がかかります。

10/1-30

「足立洋史 木版画展 Love them anyway」

あなたがしたい行いは、明日には忘れられます
それでもいい行いをしなさい

～マザーテレサが作ったカルカッタの＜孤児の家＞の壁に書かれた言葉より～



早川町で木版画を中心に創作活動を続けている足立さんの作品が cocoroto で展示されます。11 枚の連作「Love them anyway」と、小品「短い夢」の2つの作品です。早川の自然の中で創作された作品を鑑賞し、芸術の秋を満喫しませんか。

日時：10月1日(土)～10月30日(日)
10：00～17：00 ※入館無料

「Love them anyway」はマザーテレサの言葉に触発され、2009年頃から構想に入り、3年がかりで製作いたしました。本当に大切な言葉は、国も、宗教も何もかもを超える力を持つと思います。用紙にも摺りにも色を使用せず、制作時の意図が明確に伝わるよう、全て墨一色摺りにしました。

拙くはありますが「百年経っても 百篇眺めても 色褪せないもの」を目指して制作をつづけてゆきたいと思います。

足立 洋史



問い合わせ先「はやかわ創造空間 COCOROTO」
住所：山梨県南巨摩郡早川町保 1525(月曜、火曜定休)
電話：0556-45-2770 E-Mail：cocoroto.cs@gmail.com

豪華賞品？が当たる
やまだらけクイズ！ 27

問：現在、大島集落の方々が力を入れて栽培している島根芋。いったい、何と読むでしょう。

- 答①、島根から来た？「しまねいも」
②、気合い十分！「とうこんいも」
③、「とうねいも」とも読めますね

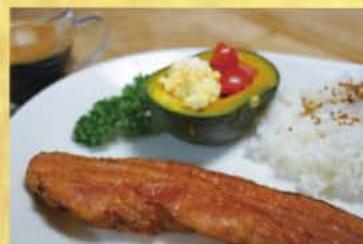
正解者の中から抽選で3名様に、「島根芋の芋茎」をプレゼントします！

前回のクイズの正解は、2の「軽トラと一輪車(ねこ)で売るから」でした。抽選の結果、秋山さん(多摩市)、森と水の源流館さん(奈良県川上村)が当選しました！

籠の直売所 cafe に
水曜限定、お洒落なランチが登場！

隣の手作りハム工房で造っているベーコンステーキは 20cm もあり、ボリューム満点！その他、パエリアやカレーピラフなど、メニューは週替わりです。また、添えてあるサラダなどにも、早川産の旬の食材を使うよう工夫してあります。水曜日のランチは、ぜひ籠の直売所のカフェへ！ランチタイム以外にも、人気のコーヒーやベーコンホットサンドなどの軽食で、ほっと一息ついでいただけます。

ランチタイム：11：00～14：00
※直売所の営業時間は 9：00～17：00(12月～3月末は冬期休業)



カフェの場所は、左上の地図をご参照ください。

問い合わせ先「籠の直売所 cafe」
住所：山梨県南巨摩郡早川町保 1236
電話：0556-45-2525(直通) 0556-45-2507

南アルプスふるさと活性化財団公式サイト
「早川 ZAIDAN」ホームページ開設！

今すぐチェック！

南アルプスふるさと活性化財団のホームページが、「早川 ZAIDAN」として新たに開設されました！

財団の特産品のみならず、観光施設や早川のみどころも幅広く紹介されています。今後、オンラインショップもできるようになる予定。期間限定割引サービスの情報もありますので、ぜひチェックしてみてください！



<http://hayakawa-zaidan.com/>

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬莱館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL: 0556-48-2211(代)/FAX: 0556-48-2366

奈良田温泉
七不思議の湯
白根館
日本秘湯を守る会々員

〒409-2701
山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
電話 0556-48-2711
www.nukuyu.com/shiranekan/ FAX 0556-48-2770

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の樹齢自噴火温泉では日本唯一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿
西山温泉 慶雲館

〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 http://www.keiunkan.co.jp

地元密着の店
有限会社 スーパー岩田屋

山梨県南巨摩郡身延町飯富 1383 番地
TEL: 0556-42-2125 FAX: 0556-42-2299

〒400-0806
山梨県南巨摩郡身延町十谷 4249
電話 0556-27-0224
7777ミリ 0556-27-0227

十谷上湯温泉
源氏の湯
日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-yu/

新築、改装、マイホームの事なら何でもおまかせ
日本建築のプロフェッショナル
望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1792
TEL 0556-45-3016 FAX 0556-45-2661(工場)

南アルプス邑野鳥公園イベント

11/6-8

紅葉の森へでかけませんか？
「ダイヤモンド富士と紅葉ハイキングツアー」

野鳥公園ガイドがおすすめする絶景ポイントへご案内いたします。早川町の色とりどりの紅葉の中のハイキングをお楽しみください。温泉、そば料理も楽しめる大満足な2日間です。

日時：11月6日(日)～8日(火)
対象：中学生以上
参加費：21,800円/1名(税込み)
※宿泊代、プログラム費、食費(6食)、障害保険料含む。
定員：14名(11月3日までに要申込)



どちらのツアーも宿泊場所は「光源の里温泉ヘルシー美里」です。JR身延線「下部温泉駅」または高速バス「飯富停留所」からの送迎ができます。詳しくはお問合せください。



12/10-11

バードウォッチングを始めませんか！
「初めてのバードウォッチングツアー」

双眼鏡の使い方や野鳥の探し方など、野鳥観察の基本から丁寧にお伝えします。双眼鏡・図鑑の貸出もありますので、お気軽にご参加ください。



日時：12月10日(土)～11日(日)
対象：小学生以上
参加費：大人21,800円/1名(税込み)
小中学生10,000円/1名(税込み)
※宿泊代、プログラム費、食費(3食)、障害保険料含む。
定員：14名(12月7日までに要申込)

ツアーの詳細はこちら
<http://www.hayakawa-eco.com/yacho/eventlodging.htm>
早川サポーターズクラブ会員は、どちらも1割引で参加できます！

申込・お問い合わせ先

「南アルプス生態邑 野鳥公園」または「南アルプス生態邑 ヘルシー美里」
【野鳥公園】TEL/FAX:0556-48-2288 mail:yacho@hayakawa-eco.com
【ヘルシー美里】TEL:0556-48-2621 FAX:0556-48-2622 mail:info@hayakawa-eco.com

11/15-30

雨畑硯職人・望月玉泉の硯も紹介
「書にまつわる山梨の職人展」

山梨のスペシャリスト4名を紹介する展示会です。西嶋の和紙漉き職人・笠井氏が和紙を漉き、雨畑硯の硯彫士・望月玉泉氏が彫った硯を使い、書家・石原氏が文字をしたため、表具師・石部氏が表具をして、作品がつけられています。山梨の匠の技が集結する貴重な機会、お見逃しなく！会場では硯の展示販売もする予定です！

会期：10月15日(土)～30日(日)
時間：10:00～18:30(定休日はHP参照)
会場：ライブ工房ホサカ 2階ギャラリー

問い合わせ先「ライブ工房ホサカ」
住所：山梨県甲府市飯田 5-17-41
TEL:055-222-3204 URL:<http://hosaka-n.jp/>

11/10～

米山ご夫妻の展示会、西湖にて開催
「陶と藍の二人展」

早川在住の陶芸家・米山久志さんと、奥様で藍染め作家・のぶ子さんの二人展が開催されます。陶器では、代表作である「甲州野梅」を表現した大皿や壺など、染め物では、藍と柿渋染めのストールや暖簾など、それぞれ多数展示してあります。早川への行き帰りなどに、立ち寄ってみてください！



会期：11月10日～12月一杯予定
会場：西湖いやしの里根場「匠や」
時間：9:00～17:00(12月は9:30～16:00)
入館料：大人350円、小中学生150円

問い合わせ先「西湖いやしの里 根場(ねんば)」
住所：山梨県南都留郡富士河口湖町西湖根場 2710
TEL:0555-20-4677



浜田屋商店
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>

霊峰七面山の登山口であなただの旅を支える

株式会社 俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社 俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

パソコン、PCソフト、NTT 販売代理店、
プリンター、コピー機、OA サプライ

オフィス事務機(有)

〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

代表 井上 聡一郎
山梨県南巨摩郡早川町小縄 26
電話 0556-45-2450

手軽なかぼちゃの イタリアン

早川町の畑では、よく市場にも出回っているクリカボチャの他、少し小振りの「坊ちゃんかぼちゃ」も人気です。味に当たり外れがない、優秀な食材だそうです。今回は、高住集落の服部喜美子さん、千須和集落の近藤節子さんから、この坊ちゃんかぼちゃを使った、手軽なかぼちゃのイタリアンをご紹介します。

野菜がたっぷり、レンジで加熱するのでその栄養も余すことなくとれるメニューです。シンプルな味付けですが、新鮮な野菜のおいしさとベーコン・チーズの旨みで大満足の味に！また、その名の通り、手軽に作られるところもポイントです。

■材料 (4人分)

- 坊ちゃんかぼちゃ……………1 個
- 玉ねぎ……………1/2 個
- トマト……………1/4 個
- ピーマン……………1 個
- とろけるチーズ……………1 枚
- ベーコン……………1 枚
- オリーブ油……………大さじ1
- 塩……………少々
- こしょう……………少々



食生活改善推進委員の活動以外にも、様々な場面で活躍しているお二人。てきぱきと動くリズムもぴったり、料理と同時に、片付けもばっちり。さすがです！



■作り方



- ① かぼちゃの上部 3cm 位をカットし種を取り、ラップでつつんでレンジで7～8分加熱する。
- ② 玉ねぎをみじん切り、ベーコンを千切り、トマト、ピーマンを薄切りにする。
- ③ 玉ねぎとベーコンを炒め塩こしょうをし、かぼちゃの中に詰める。
- ④ その上に、ピーマンとトマト、チーズをのせてレンジで1分加熱して出来上がり。

人数分に切り分けてお召し上がり下さい。中身の野菜は他のものでも大丈夫。ただ、ナスなど水分の多いものは、予め炒め水分を飛ばすといひそうです。



読者の声

●早川町で生まれ育ったのですが、まだまだ知らないことばかりでした。池大神や雄滝など、素晴らしいところがある事に感動しました。本当に宝の山ですね。(甲府市Mさん)

●新しい号が届く度、こんなところもあったのか…と、早川の事を意外と知らない自分に気づかされます。西山温泉の湯川奥にあるという湯王大権現。今度帰省する折には、ぜひ、訪れてみたいと思います。旬の直送便、大粒なめこの写真を見て思わず注文しました。届くのが楽しみです。(八王子市Nさん)

編集部：早川町出身の方々からこうした感想を

頂けるのは、編集部にとってとても嬉しい事です。早川町の宝探しにもますます力が入ります。ありがとうございました！

●東北日本と西南日本を分ける 250km に及ぶ構造線。早川町の位置、地質、町内の相対的關係、そして風物景観の決め手。これを取り上げ特集したのはとても良かった。(横浜市Mさん)

編集部：おっしゃる通りです。取材を通して、糸魚川ー静岡構造線上に位置していることが、早川町の自然、生活、産業など、全てのベースになっているとつくづく感じました。良くも悪くも、早川町が抱える宿命です。

■NEXT やまだらけ
 創刊 50 号記念特別企画！
「早川の価値、再発見」
 平成 15 年 9 月の創刊以来、早いもので「やまだらけ」も 50 号を迎えます。編集部が伝えたかった早川の魅力、これまでの取材で改めて見えた早川の価値…。これらを「やまだらけ」にかけると熱い思いとともに、ご紹介いたします。
 読者の皆さんも気になって仕方がない(?)、編集部の面々も登場する予定です！(12 月上旬お届け予定)

地域発展のお手伝い！地域の暮らしを守る！
早邦建設株式会社
 H21 湯川工用道路工事
 【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
 TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
 【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
 E-mail: soho@soho3000.com

グリシャム初のジュニア向け法廷ミステリー！
少年弁護士 セオの事件簿
 全米 100 万部突破!!
 なぞの目撃者 1
 ジョン・グリシャム・作 石崎洋司・訳
 殺人事件、完全犯罪、そして裁判がはじまるー
 全世界が注目する法廷ミステリーシリーズついに日本上陸！
 世界 40 言語で出版!!
 定価 1,470 円(税込)
 岩崎書店 〒112-0005 東京都文京区水道1-9-2
 Tel.03-3812-9131 http://www.iwasakishoten.co.jp

鉛筆の名作「ハイユニ」 1ダース ¥1,764
 文具の **月禾堂** TEL.(0556)22-0445

大島の方に昔の集落の様子や暮らしを伺いながら、その痕跡や名残を探し、集落を歩く。こうした時間は、風景は自分の知識や心持ちが変わること、その見え方が変わるということを直に体験させてくれました。「普段見えていないもの」「そこにあるもの」にもっともっと敏感にならなければ、しばらくは、自分の住んでいるまちで「名残さがし」をしながらの通学を楽しみたいと思います。(川田武尊)

山を覗けば宝の山 やまだらけ

発行元/フィールドミュージアム運営委員会
 住所/山梨県南巨摩郡早川町薬袋430 〒409-2727
 電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2268
 ホームページ/http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/fm/